

患者さんパンフレット

四国がんセンター
消化器内科



私たち医療スタッフは

- I 入院や抗がん剤治療に対する不安を軽減し、
最良の状態での治療が受けられるようお手伝いいたします

- II 抗がん剤治療の副作用や苦痛を軽減し、
安全に治療を続けることができるようお手伝いいたします



化学療法（エスワン・シスプラチン）を 初めて受けられる

さま

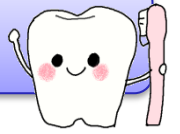
病棟

担当医

受け持ち看護師

2009年1月20日 作成
2024年2月21日 改定

治療前の歯科受診について



四国がんセンターでは、
治療時に起こる口のトラブルを予防し、
治療が円滑に進むよう、
治療開始前の歯科診察を行っています



口腔内（口の中）はとても細菌の多い場所です
治療中や治療後などその細菌が悪影響を及ぼすことがあります
特に、治療後の口内炎・肺炎等を防ぐには、治療前からの
口腔ケア（口の中をきれいにし細菌をできるだけ減らしておく）
を行うことが有効です

治療前の歯科受診では、以下を行います。

- レントゲン検査・診察（口腔内の状態を診る）
- 歯ブラシではとれない細菌の除去
- 適切な歯ブラシ方法の指導

通常1～2回の受診で終わることができます

続けてのケアが必要な方で、かかりつけ歯科をお持ちの方は、
かかりつけで歯科にご紹介させていただきます
ご相談ください

エスワン・シスプラチン療法のスケジュール

1コース（36日間）

治療日数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11~21	22~36
エスワン（内服） 1日2回 朝夕食後	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
シスプラチン （点滴）2時間								●				
点滴 （吐気止めなど）								●	●	●		

*この他に、アレルギー予防や利尿剤の点滴などがあります

安全に点滴を行うために

- 正しく安全に点滴液を投与するために輸液ポンプを使用します
- 点滴が入っている部位を曲げたり、ねじったり、また、点滴チューブをひっぱったりしないようにしてください
- 歩行時は、点滴台を支えにして歩くと転倒する可能性があります
点滴台は支えにしないようにしましょう

- * 輸液ポンプを使用しているときに機器のアラーム音が鳴ったとき
- * 点滴が入っている部位に違和感や痛みを感じたり、腫れてきたとき
- * 点滴を開始してから、気分が悪くなったり、呼吸がしづらくなるような症状が出たとき



こんなときは看護師にお知らせください

ダイアリー

このパンフレットには、当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

また、よりよい状態で退院を迎えられるよう患者さんご自身の目標と医療スタッフの目標もあげています

入院期間は14日前後の予定です

抗がん剤治療の副作用は、個人差があり、体の状態によっては予定どおりにすまないこともあります。その都度対応していきますので、ご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活が不安なく送られるようにサポートさせていただきます





今日の目標

- ・入院生活や治療について医療スタッフの説明が理解できる
- ・わからないことは質問することができる

<時間>	<予定>
11:00	入院 【入院後に以下のことを予定しています】 <ul style="list-style-type: none"> ・看護師から病院内、病棟内、入院生活の説明（テレビの病院案内も参考にしてください） ・検温、血圧測定、身体測定
12:00	昼食 <ul style="list-style-type: none"> ・連絡先、既往歴、生活習慣などの聞き取り ・歯科受診 ・血液検査（必要時） ・医師、薬剤師より抗がん剤治療の説明があります ・説明を聞いた後、納得し同意できれば同意書にサインをし、看護師にお渡しください ・看護師から治療の流れと日常生活の注意点について説明があります ・わからないことやもう少し詳しく説明を聞きたいことなどがありましたら、遠慮なくお尋ねください
18:00	夕食 <p><お薬></p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の病院で処方されたお薬は、一度お預かりします ・医師の指示を確認後、続けるか、中止するかをお伝えします <p><食事></p> <ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギーのある方は医療スタッフにお知らせください ・特に制限はありません
21:30	消灯 <ul style="list-style-type: none"> ・治療食以外の方は選択食となっています

MEMO 気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- ・入院生活や抗がん剤治療に対する不安がないよう支援します



抗がん剤投与 1日目 月 日



今日の日

- 安全に抗がん剤治療を受けることができる
- 抗がん剤の副作用について理解できる
- エスワンの内服ができる

<時間>

<予定>

6:00

起床
洗面、歯磨きをしましょう

7:30

朝食

10:00

検温、血圧測定

12:00

昼食

薬剤師より薬の説明をします
シャワー浴ができます
歯科受診があります



18:00

夕食

★夕食後、エスワンを内服しましょう

21:30

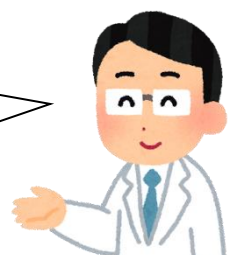
消灯

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- 抗がん剤治療に対する不安がないよう支援します
- アレルギー症状や副作用症状の早期発見に努めます





今日の目標

- ・副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる
- ・エスワンの内服ができる

<時間>

<予定>

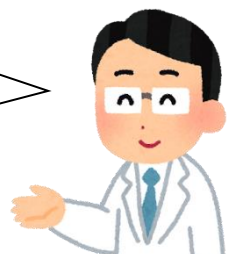
6:00	起床 洗面、歯磨きをしましょう
7:30	朝食 ★朝食後、エスワンを内服しましょう
10:00	検温、血圧測定 シャワー浴ができます
12:00	昼食
18:00	夕食 ★夕食後、エスワンを内服しましょう
21:30	消灯

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- ・アレルギー症状や副作用症状の早期発見に努めます



抗がん剤投与 7日目 月 日



今日の目標

- 治療について医療スタッフの説明が理解できる
- 副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる
- エスワンの内服ができる

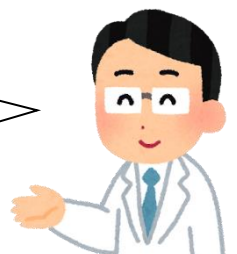
<時間>	<予定>
6:00	起床 検温、血圧測定
7:30	朝食 ★朝食後、エスワンを内服しましょう 歯磨きをしましょう 血液検査
10:00	検温、血圧測定 明日から点滴が始まります 看護師から治療のスケジュールと日常生活について説明があります シャワー浴をしましょう
12:00	昼食
18:00	夕食 ★夕食後、エスワンを内服しましょう 歯磨きをしましょう
21:30	消灯

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- 抗がん剤治療に対する不安がないよう支援します
- アレルギー症状や副作用症状の早期発見に努めます



入院中の生活の注意点

- ◆感染予防のためにマスクを着用し、手洗いうがいをしましょう
- ◆口の中は清潔にするよう心がけましょう
- ◆排泄を促すために水分をしっかりととりましょう
- ◆膀胱に尿が溜まると薬が腎臓や膀胱を刺激し、炎症を起こしますので尿意を感じたら我慢をしないでトイレに行きましょう
- ◆排尿時に痛みや残尿感がある場合には看護師にお伝えください



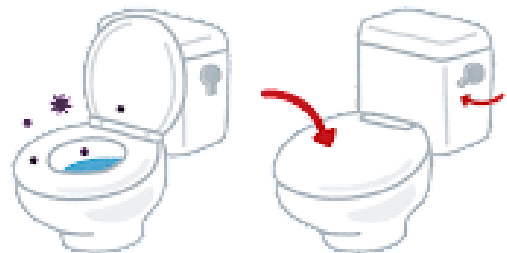
- ◆抗がん剤治療開始から治療後2日間ほどは、尿や便などから抗がん剤が排出されます。尿や便に直接触れても健康に直接被害を及ぼすことはありませんが、できるだけ周りに広げないように以下のことに注意しましょう

- **男性の方は飛び散り防止のため、座って排尿しましょう**



- 尿がこぼれた場合は、トイレットペーパーできれいに拭き取りトイレに流しましょう。2度拭き取ると良いでしょう。

- トイレの後、フタがある場合は、**フタをして水を2回流しましょう**



- トイレのあとは石けんなどでよく手を洗いましょう
- 尿や吐いてしまったもので衣類が汚れた場合は、ほかの洗濯物と分けて洗濯しましょう



今日の目標

- ・ エスワンの内服ができる
- ・ 安全に抗がん剤治療を受けることができる
- ・ 副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる
- ・ 転倒しない

<時間>

<予定>

6:00 起床
排尿を済ませてから体重測定をしましょう
洗面、歯磨きをしましょう

7:30 朝食
★朝食後、エスワンを内服しましょう
点滴開始までにシャワー浴ができます

10:00 検温、血圧測定
尿量測定開始（表へ尿量の記入をしましょう）

医師または研修を受けた看護師が医師の指示のもと点滴を開始します

- ①ソルアセットD500ml 【1時間】
- ②ソルアセットD500ml 【1時間】
- ③アロキシ+デキサート（吐き気止め） 【15分】
- ④シスプラチン（抗がん剤） 【2時間】
- ⑤生食50ml+ラシックス（利尿剤） 【15分】
- ⑥ソルデム3A1L 【24時間】
 - 1) 抗がん剤の横からソルアセットD500ml 【2時間】
 - 2) 抗がん剤の横からソルアセットD500ml 【2時間】

シスプラチン
投与中、投与後
に検温をします

12:00 昼食
歯磨きをしましょう

14:00 検温、血圧測定



尿や便から抗がん剤が
排泄されます
排泄後、フタをして
水を2回流しましょう

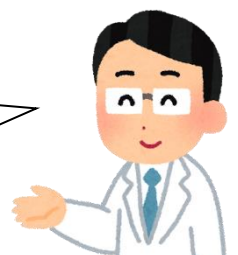
18:00 夕食
★夕食後、エスワンを内服しましょう
歯磨きをしましょう

19:00 検温、血圧測定

21:30 消灯

医療スタッフの目標

- ・ アレルギー症状や副作用症状の早期発見に努めます
- ・ 抗がん剤の血管外漏出予防に努めます





今日の目標

- ・エスワンの内服ができる
- ・副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる
- ・転倒しない

<時間>

<予定>

6:00

起床
排尿を済ませてから
体重測定をしましょう

- ・食事内容の変更希望がありましたら、看護師に伝えてください
- ・刺入部に異常がありましたら、看護師に知らせてください

7:30

朝食
★朝食後、エスワンを内服しましょう
洗面歯磨きをしましょう
検温、血圧測定

10:00

検温、血圧測定
点滴があります

- ★メイン ソルテム3A1L 【24時間】
- 1) 生食100ml+デキサート（吐き気止め） 【15分】
 - 2) ソルアセットD500ml 【2時間】
 - 3) ソルアセットD500ml 【2時間】
 - 4) ソルアセットD500ml 【2時間】

10時までの尿量が3000ml以下のときは、追加で利尿剤があります

12:00

昼食
歯磨きをしましょう

14:00

検温、血圧測定
必要に応じて体を拭きます



尿や便から抗がん剤が排泄されます
排泄後、フタをして水を2回流しましょう

18:00

夕食
★夕食後、エスワンを内服しましょう
歯磨きをしましょう

19:00

検温、血圧測定

21:30

消灯

医療スタッフの目標

- ・副作用症状の早期発見に努めます
- ・抗がん剤治療の血管外漏出予防に努めます






今日の目標

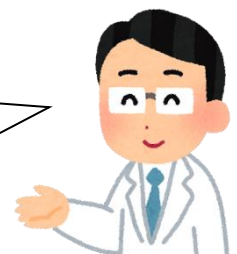
- ・エスワンの内服ができる
- ・副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる
- ・転倒しない

<時間> <予定>

6:00	起床 排尿を済ませてから体重測定をしましょう	
7:30	朝食 ★朝食後、エスワンを内服しましょう 洗面、歯磨きをしましょう 検温、血圧測定	<div style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・食事内容の変更希望がありましたら、看護師に伝えてください ・刺入部に異常がありましたら、看護師に知らせてください </div>
10:00	検温、血圧測定	
	点滴があります 1) 生食100ml+デキサート（吐き気止め）【15分】 2) ソルアセットD500ml 【2時間】 3) ソルアセットD500ml 【2時間】 4) ソルアセットD500ml 【2時間】	
	10時までの尿量が3000ml以下のときは、追加で利尿剤があります	
	点滴終了後、針を抜きます	
12:00	昼食 歯磨きをしましょう	
14:00	検温、血圧測定 点検終了後に シャワー浴ができます	 <div style="border: 2px solid yellow; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;"> 尿や便から抗がん剤が排泄されます 排泄後、フタをして水を2回流しましょう </div>
18:00	夕食 ★夕食後、エスワンを内服しましょう 歯磨きしましょう	
19:00	検温、血圧測定	
21:30	消灯	

医療スタッフの目標

- ・副作用症状の早期発見に努めます
- ・抗がん剤治療の血管外漏出予防に努めます





今日の目標

- ・ エスワンの内服ができる
- ・ 副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる

<時間> <予定>

6:00	起床 排尿を済ませてから体重測定をしましょう
7:30	朝食 ★朝食後、エスワンを内服しましょう 洗面、歯磨きをしましょう 検温、血圧測定
10:00	検温、血圧測定 10時までの尿量が3000ml以下のときは、追加で利尿剤があります 本日で尿量測定は終わりです
12:00	昼食 シャワー浴ができます
18:00	夕食 ★夕食後、エスワンを内服しましょう 歯磨きをしましょう
19:00	検温、血圧測定
21:30	消灯

- ・ 食事内容の変更希望がありましたら、看護師にお知らせください
- ・ 体調に応じて医師から退院許可ができます
- ・ 退院日についてご家族と相談し、ご希望の日があれば、看護師にお知らせください

MEMO 気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標
・ 副作用症状の早期発見に努めます



抗がん剤投与 12日目以降 月 日～



今日の目標

- エスワンの内服ができる
- 副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる
- 退院後の日常生活や今後の治療について不安や疑問があれば医療スタッフに伝えることができる

<時間> <予定>

6:00	起床 洗面をしましょう
7:30	朝食 ★朝食後、エスワンを内服しましょう 歯磨きをしましょう
10:00	検温、血圧測定
12:00	昼食 歯磨きをしましょう シャワー浴ができます
18:00	夕食 ★夕食後、エスワンを内服しましょう
21:30	消灯

- 食事内容の変更希望がありましたら看護師に伝えてください
- 退院日が決定後、看護師から退院当日の流れと日常生活の注意点について説明があります

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- 副作用症状を早期発見に努めます
- 退院の準備をすすめられるよう支援します



退院日 月 日



今日の目標

- ・エスワンの内服ができる
- ・退院できる

<時間>

<予定>

6:00

起床、洗面
検温、血圧測定

7:30

朝食
★朝食後、エスワンを内服しましょう
歯磨きをしましょう

「入院診療費料金連絡票」を病室にお届けします
2階窓口でお支払い終了後、病棟まで連絡票をお持ちください

お預かりしている薬、退院の薬がある場合はお渡しします
次回外来予約票をお渡しします

10:00

退院
忘れ物がないようご確認ください

次回の外来受診は、

月 日 () 時の予定です

* 外来受診時に検査のある場合は、事前に医師から説明があります

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- ・退院後の日常生活に不安がないよう支援します



副作用について

●過敏症（アレルギー）

抗がん剤を投与したときに、抗がん剤に対して身体が異常な反応を示すことを過敏症といいます。

<症状>

アレルギーの症状は、手のひらや足の裏が痒くなる、蕁麻疹、口の中やのどの違和感やしびれ感、顔や体がカーッと熱くなる、吐き気、お腹の痛み、胸を押さえつけられるような圧迫感、くしゃみ、冷や汗などの症状が初期症状として現れます。

<治療方法>

症状が現れたら、点滴の滴下をすぐに止めます。

アレルギーの場合は、一般的に原因となった抗がん剤の再投与は行いません。

しかし、症状が軽い場合には、医師の判断によって症状が落ち着くのをまってから点滴の速度をゆっくりにしたり、アレルギーを予防する薬を投与したりして治療を再開することがあります。

●吐き気・嘔吐

<症状>

吐き気・嘔吐は、抗がん剤を開始してから数時間後から起きはじめ、3～4日間ほどで症状は落ちつくことが多いです。嘔吐によって、水分と胃液・十二指腸液などに含まれる電解質も体外に出てしまいます。そのため、電解質や水分が多量に失われると脱力感・倦怠感・手足のしびれなどの電解質異常症状や、口の渇き・皮膚の乾燥・尿量の減少・体重の減少などの脱水症状が出てきます。

<治療方法>

病院で処方された吐き気を抑える薬は決められた指示どおりに内服してください。また、吐き気が強い場合に飲んでいただくものもあります。

予防方法（日常生活の注意点）

- 無理せず食べられるものを探し、食事はゆっくりと時間をかけたり、少量ずつ可能な範囲で食べるとよいでしょう。
- においに敏感になっている場合には、花や香水などのにおいが強いものを避け、また、室内の換気をよくして、リフレッシュすると良いでしょう。
- 音楽を聞いたり、テレビを見たり、ゆっくりと腹式呼吸を行うことで吐き気が楽になることがあります。
- 料理では、特に揚げ物、煮物、煮魚や焼き魚などは避けることで、嘔気を軽減することもあります。また、料理は冷やしたり、冷まして食べることでにおいが軽減し、食べやすくなる場合があります。



●腎機能障害

腎臓は、体に不要な有害な物質を尿として排泄します。また、余分な水分を排泄して血液量を一定に保つ働きがあります。これらの働きが障害されることを腎機能障害（腎臓のはたらきを障害）といいます。

<症状>

尿の量が少ない・手足や顔のむくみ・体重の増加・血尿・膀胱炎症状（排尿時の痛み、排尿したのに尿が残ったような感じ、何度も排尿を催すなど）があります。

<治療方法>

点滴や利尿剤を使用して腎臓の働きを助ける治療を行います。



予防方法（日常生活の注意点）

- 尿を十分に出すことが必要です。
そのため水分を多くとることを心がけましょう。
- 水分は、水だけでなく、お茶でもスポーツドリンクでも構いません。
飲みやすいものを飲みましょう。

●口内炎

<症状>

痛み、出血、食事がしみる、口の中の乾燥、口の中がはれる、口の中が赤くなる、口が動かしにくい、食べ物が飲み込みにくい、味覚が変わる、会話しにくい、など。抗がん剤の投与後、およそ5日目から10日目ころに、口内炎が発生しやすくなります。

<治療方法>

痛みが強い場合には、消毒作用や痛み止めの作用のあるうがい薬を使うこともあります。

予防方法（日常生活の注意点）

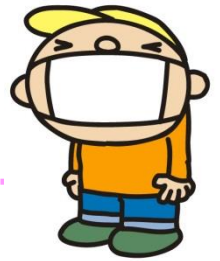
- 必要に応じてうがい薬でこまめにうがいをしたり、食後あるいは寝る前にうがいをし、歯磨きなどで口の中を清潔にするとよいでしょう。
- 料理は熱いものを避け、冷まして食べると炎症部位への刺激が少なくなります。塩分や酸味、香辛料の強いものは避けるとよいでしょう。
- やわらかい料理（お粥や、やわらかく煮込んだうどんなど）を多めにしたり、とろみをつけたり、裏ごしすると食べやすいです。

●骨髄毒性

抗がん剤の副作用による骨髄抑制は、薬剤および個人差により若干異なりますが、一般的に投与1～2週間後にピークになり、その後7～10日で回復します。

<症状>

◎白血球（好中球）減少による症状～感染症状（発熱など）
白血球が減少すると免疫力が落ちて感染しやすくなります。



予防方法（日常生活の注意点）

感染予防のコツは外界と接する粘膜の部分（鼻、口、肛門、尿道、膣）や手を常に清潔に保つことです。

- 普段からうがい、手洗いを励行し、入浴やシャワー浴で体を清潔にして、感染予防の習慣をつけましょう。
- 白血球減少のピーク時には、普段のうがいや手洗に加えて、外出を控え、マスクをつけ、生ものを避けるなどの注意をするとさらに細菌やウイルスを防御しやすくなります。

●味覚障害・食欲不振

味覚障害には、味を感じる味蕾を構成する味細胞自体や、味細胞から中枢に向かう神経が障害を受けることで味覚が変化するもの、抗がん剤の副作用によって、唾液の分泌が減少し、口の中が乾燥しやすくなることによるもの、亜鉛不足によるもの、口の中の病変によるもの、などがあります。

<症状>

味覚障害では、金属のような味、砂を噛んでいるような感じ、舌に膜が張ったような感じ、味がわかりにくい、味が強く感じられる、などの症状が起こります。

食欲不振では、食欲がない、食事がおいしく感じられない、たくさん食べられない（食べる気分になれない）などの症状が起こります。

予防方法（日常生活の注意点）

- うがいで口のなかをうるおった状態にしておくことは、味覚障害の予防になります。
また、うがいは口のなかの乾燥を防ぎ、口内炎や口の中の感染症の予防になります。
水道水でよいので、回数多くうがいをしましょう。





●色素沈着

薬の影響をうけて、皮膚や爪に色素沈着が現れることがあります。
症状として、皮膚や爪、指先などが褐色や黒色になります。

予防方法（日常生活の注意点）

- 強い日差しが差し込む窓際などは避けてください。
また、外出時は帽子や衣服で直射日光を避けてください。

●流涙（涙がでる）

薬の影響を受けて涙がでることがあります。
発現率は10人に1～2人ぐらいです。
流涙以外にも、目の充血、目が痛い、物が見えにくい、
目がかすむ、目が乾くなどの症状がでることがあります。



予防方法（日常生活の注意点）

- 日常生活で目の症状が気になるときは、なるべく早く担当の医師に
相談してください。症状によっては、眼科検査と治療を行う必要があります。

●肺障害

感染に伴う肺炎とは異なり、薬剤の肺への直接的影響、間接的影響（免疫系細胞の活性化など）により肺実質におこる炎症のことです。

<症状>

咳が増えた（あまり痰が絡まない、コンコンといった咳）、息切れが強くなった
呼吸困難（息が吸えない）、動悸がする、熱がでる、疲れやすい といった
症状をきたします。

予防方法（日常生活の注意点）

- 薬剤の相互作用によりこれら発症の誘因となる恐れがありますので、
治療を開始する前に健康食品や市販のお薬も含め服用している全ての薬を
担当医や薬剤師、看護師に伝えてください。
- 治療開始してから、もともと呼吸器症状がない患者さんに肺障害の症状が
出現してきた場合には、早めに担当医または看護師にお伝えください。

退院後の日常生活について

●食事

無理せず食べられるものを探し、食事はゆっくりと時間をかけたり、少量ずつ可能な範囲で食べるとよいでしょう
食事ごとに吐いてしまうようなときは、1～2食、食事は控えてみましょう
この場合も水分はできるだけとりましょう
退院後でも栄養相談を受けることができます
医療スタッフにご相談ください



●排泄

毎日排便があるようにしましょう
軽い運動や水分を多めにとりましょう

下痢のときは白湯やスポーツ飲料などをとりましょう
水分を控えると脱水症状を起こすことがあります
下痢が続くようなら4時間毎に下痢止めを内服してください

便秘気味の方は、緩下剤（便をゆるくする薬・押し出す薬）で排便コントロールをしましょう
退院までに医療スタッフと対処方法について相談しておきましょう

*退院後、便秘が続き排ガスがない、下痢や吐き気、腹痛がある場合はかかりつけ医、または四国がんセンターの医師の診察を受けるようにしましょう

●発熱

38.0℃以上の熱がでた場合は、医師の指示どおりに抗生剤や解熱剤を服用しましょう
服用しても熱が続く場合は、がん相談支援センターにご相談ください



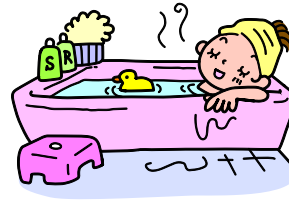
●活動

無理をしない程度で体を動かしましょう
活動の内容や範囲に制限はありません
白血球が下がっているときは、なるべく人混みは避けましょう
外出時は、マスクを着用し、帰宅時に手洗い、うがいをしましょう

活動について迷うことがあれば、医療スタッフにご相談ください

●入浴

特に制限はありません



●仕事

重労働は、しばらく避けるようにしましょう

仕事を開始する時期や内容については、退院までに医師と相談しておくことをおすすめします

退院までに相談できない場合は、外来受診時に相談ください

これから先、安心して働き続けるためには、体の状態に合わせた休み方や働き方が必要になることもあります

病院では、患者さんの「働きたい!」をサポートしています

私たちと一緒に考えていきましょう



【相談窓口】

がん相談支援センター相談員

・医療ソーシャルワーカー、看護師
<出張相談>

・ハローワーク松山就職支援ナビゲーター

・両立支援促進員（社会保険労務士）

ご相談は、がん相談支援センターへお問い合わせください

●お薬

薬の処方がある方は、医師の指示どおりに服用してください

他の病院の薬を服用する場合は、医師に相談してください

抗がん剤を飲み忘れても絶対に2回分を一度に飲まないようにしてください

飲み忘れの分はとばして、次の分から服用してください

間違えて一度に多く飲んでしまったときは、がん相談支援センターにご相談ください

また、抗がん剤を内服できない場合も、がん相談支援センターにご相談ください



わからないこと、心配なことがあれば
遠慮なく看護師にお尋ねください



- 38.0℃以上の熱が続くとき
(手持ちの抗生剤と解熱剤がある方は、そのお薬を飲んででも熱が続くとき)
- エスワンを一度に多く内服してしまったとき、または内服できないとき
- 下痢が続くとき
- 食事がとれないほど、ひどく体調が悪いとき

上記のような症状がある場合やその他ご心配なことがある場合は、
がん相談支援センターにご連絡ください

◆四国がんセンターの連絡先◆

【平日】 8:30~17:15
四国がんセンター がん相談支援センター
(直通番号) 089-999-1114

【平日上記時間外および土・日・祝日】
日直/夜間当直師長
(代表番号) 089-999-1111

* 外来受診日や検査予約日の変更については、
予約センターにご連絡ください

【平日】 8:30~17:15
(直通番号) 089-999-1112



化学療法（エスワン・シスプラチン）を初めて受けられる方へ